

社団法人大学英語教育学会 (JACET)
第48回全国大会発表募集のお知らせ

社団法人大学英語教育学会
全国大会運営委員会

第48回(2009年度)の全国大会は「国際交流「新」時代における大学英語教育カリキュラム刷新」を大会テーマに、9月4(金)・5(土)・6(日)日の3日間、北海学園大学豊平キャンパス(北海道札幌市)で開催されることになりました。

については本大会での各部門の発表を下記の要領で募集致します。

1. 発表募集部門

* (1)(2)(3)(7)は、コンピュータを使用する発表数増加に伴い、同枠前半・後半の間に10分間の休憩をもうけるため、発表時間が25分となっておりますのでご注意ください。

- (1) 研究発表 大会テーマの分野に関する研究、並びに大学英語教育を中心とする英語教育および関連諸科学の分野に関する理論的、実践的研究の成果について (発表15~20分+質疑応答5~10分の計25分*)
- (2) 実践報告 主に大学における個人の授業について (発表15~20分+質疑応答5~10分の計25分*)
- (3) 事例研究 主に大学におけるカリキュラム改革等について (発表15~20分+質疑応答5~10分の計25分*)
- (4) 私の授業 特記事項(1)参照 (ビデオ15~25分+解説・ディスカッション20~25分の計45分)
- (5) シンポジウム・ワークショップ 特記事項(2)参照 (発表時間: 90分)
- (6) ポスターセッション 120cm×180cm程度のボードにポスターを1日展示し、途中必ず指定時間に立ち会う。
- (7) 賛助会員発表 大学英語教育を中心とする英語教材に関すること<発表はすべて著者、編著者、監修者を中心に行なう> (発表15~20分+質疑応答5~10分の計25分*)

2. 応募資格

- (1) JACET会員であること。(会員・非会員共に2009年1月15日までに必ず入会手続きを完了し、会費を納入しておいてください。会費納入が確認されない場合、審査の対象とはなりませんのでご注意ください。) グループでの発表も、全員が会員であり、会費が納入されていることが条件です。
- (2) 応募件数: 1人1件(全プログラムを通して同一人の名前が複数回出ないように配慮しております。重複応募のないようご注意ください)。尚、賛助会員発表については1社1件とします。
- (3) 発表は未発表のものに限ります。
- (4) 発表はグループ発表も含めすべて本人が(グループの場合は全員) 出席して行なうものとし、代読は認めません。 急病等の場合は、事務局に連絡して下さい。発表欠席者はJACET通信大会特集号に名前が掲載されます。
- (5) 「研究発表」に関しては、英語での発表を原則とします。又、その他の部門においても、英語による発表の応募を推奨します。

3. 応募方法

各部門への応募者は、応募用紙、発表要旨原稿4部(記名3部・無記名1部)、フロッピーディスクまたはCD-R(Windows PC上で開けるもの)を下記の要領で送付して下さい。

- (1) 応募用紙: JACETホームページ(<http://www.jacet.org/>)の記入見本を参照して下さい。連名で応募をする場合でも、必ず一人につき一枚記入して下さい(応募用紙はコピーで可)。その際、代表者の氏名の前にマル印を付けて下さい。
「研究発表」「実践報告」「事例研究」「シンポジウム」「ワークショップ」「ポスターセッション」部門への応募者は黄色、「私の授業」部門への応募者は青色、「賛助会員発表」部門への応募者はピンク色の応募用紙に記入してください(コピーやホームページからダウンロードした場合は白い用紙で結構です)。
- (2) 使用機器: 別紙「発表時使用機器についてのお尋ね」をJACETホームページ(<http://www.jacet.org/>)の記入見本を参照して下さい。連名で応募する場合は、代表者が代表で記入し、1枚のみ提出して下さい。
- (3) 発表要旨原稿: (JACETホームページ上 <http://www.jacet.org/> の発表要旨原稿サンプルをご参照ください。)
 - ① 研究発表・事例研究・ポスターセッション: 研究の目的、仮説、方法、結論等
 - ② 実践報告: 発表の担当学年、クラスの数、授業の目標、指導の手順等
 - ③ 私の授業: 発表授業の担当学年、クラスの数、授業の目標、指導の手順等
 - ④ シンポジウム・ワークショップ: 発表の趣旨と内容、司会者の明記
 - ⑤ 賛助会員発表: 研究の目的、仮説、方法、結論等

上記いずれもA4判用紙2頁にまとめて下さい。

- ・発表要旨の言語と発表言語は統一して下さい。
- ・英文の場合は1行70～90字で1頁約30行(ダブルスペース)とします。
- ・和文の場合は横書き、1行約40字で1頁40行とし、和文の題目の下に英語でタイトルを付けて下さい。
- ・頁の左上に、発表分野を記入してください。(分野一覧は応募用紙“分野”をご参照ください。)
- ・発表要旨は記名のあるオリジナルとコピー2部、記名部分を削除した無記名の要旨1部、合わせて**4部送付して下さい**。
- ・発表要旨原稿はそのまま写真でB5判に縮写してオフセット印刷し、全国大会要綱に掲載致します。差し替えや訂正は出来ませんので、充分推敲したうえ、必ずワープロできれいに印字してご提出下さい。
- ・見本は第47回全国大会要綱を参考にして下さい。**ハンドアウトは、各自ご準備下さい**。

(4) フロッピーディスクまたはCD-R

発表要旨原稿は3.5インチ2HDのフロッピーまたはCD-R (Windows PC上で開けるもの) に、テキスト形式で保存してお送り下さい。
尚、発表応募書類等は採用・不採用にかかわらず返却いたしません。

4. 特記事項(1): <私の授業>について

(1) 内容 および 募集件数

- ① 「私の授業」とは授業者が自分の授業をビデオテープに収録したものをみせながら解説し、参加者との質疑応答を通して授業改善を志向するプログラムです。
- ② 募集件数: 約2件

(2) 発表する授業の形態: 特に制限はありませんが、通例、以下のようなものになります。

- ① 半期ないし一年にわたるような長期の授業を紹介する場合: その内いくつかの場面を撮影して、15～20分程度に編集する。
- ② ある特定の授業を紹介する場合: 特定の目的を持った授業や毎回同じ活動を行っている授業は、そのうちの1授業を撮影し、これを15～20分程度に編集する。
- ③ ある特定の場面を紹介する場合: 授業の中で特に問題提起をしたい場面を抽出し、収録する。

(3) 応募方法

上記の応募書類の他に、授業のテーマと特徴を400字程度にまとめたもの、および録画テープ (発表の際、公開する授業の録画テープをVHSまたはDVD-Rで15～20分間に編集した物) も一緒に提出して下さい。

5. 特記事項(2): <シンポジウム>と<ワークショップ>の発表要領

<シンポジウム>

- (1) 提案者 シンポジウムは司会者を含め2人以上5人以内、ワークショップは司会者を含め1人以上5人以内 (司会者及び提案者を明記する。)
- (2) 発表要領
 - ① 司会者が進行を務める (司会者は提案者を兼ねてもよい)。
 - ② 提案者が順次論題に関して発表する。
 - ③ 提案者の発表後、提案者間で議論する。
 - ④ 提案者間の議論の後、参加者を交えて議論する (少なくとも15分以上)。
 - ⑤ 司会者が論点または提案事項をまとめる。

<ワークショップ>

- (1) 提案者 個人またはグループ (グループの場合、司会者及び提案者を明記する。)
- (2) 発表要領
 - ① 提案者 (グループの場合は司会者) が進行を務める。
 - ② 提案者が参加者に課題を提起する。
 - ③ 提案者の指導のもとに参加者は課題に取り組む。
 - ④ 提案者は参加者とのインタラクションを通して課題解決を図る。
 - ⑤ 提案者が論点または提案事項をまとめる。

6. 発表の採択について

採択の可否については、3月下旬に応募者全員 (共同発表の場合は代表者宛) にお知らせ致します。

7. 応募締切 2009年2月14日 (土) (国内は当日消印有効)

8. 送付先 〒162-0831 東京都新宿区横寺町55 (社) 大学英語教育学会 全国大会運営委員会 宛
TEL 03-3268-9686 FAX 03-3268-9695